



ファームウェアバージョン :	R3.00.B037	
ハードウェアバージョン :	DGS-3120-24TC	A1、A2
	DGS-3120-48TC	
	DGS-3120-24PC	
	DGS-3120-48PC	
	DGS-3120-24SC	
	DGS-3120-24SC-DC	
発行日 :	2014/1/16	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次 :

変更履歴とシステム要件 :	2
注意事項 :	2
アップグレード手順 :	2
CLI (シリアルポート) を使用するアップグレード	2
Web-UI を使用するアップグレード	6
追加機能 :	9
MIB および D-View モジュールの変更点 :	9
コマンドラインインタフェースの変更点 :	9
修正した問題点 :	9
既知の問題 :	10

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム：R3.00.B037	2014/1/16	DGS-3120-24TC	A1、A2
		DGS-3120-48TC	
		DGS-3120-24PC	
		DGS-3120-48PC	
		DGS-3120-24SC	
		DGS-3120-24SC-DC	

注意事項：

R1.02 系もしくはそれ以前のファームウェアから R3.00.B027 に直接ファームアップをすることはできません。R1.02 系もしくはそれ以前のファームウェアから R3.00.B037 にファームアップするには、“DGS-3120_Series_A1_Runtime_2.00.010.had”にアップグレードしてから、R3.00.B037 にアップグレードしてください。

アップグレード手順：

アップグレードを行うには、[CLI\(シリアルポート\)](#)、もしくは [Web-UI](#) を使用してファームウェアのアップデートを行うことができます。

CLI（シリアルポート）を使用するアップグレード

1. スイッチの電源を切り、RS-232 シリアルポート（コンソールポート）で PC と接続し、ターミナルソフトウェアを起動します。ターミナルソフトウェアの設定は下記の通りです。（本手順書ではターミナルソフトウェアは Tera Term を使用しています。）

- ボーレート：**115200**
- データビット：**8**
- パリティ：**none**
- ストップビット：**1**
- フロー制御：**none**

2. VT-100 のエミュレーションが可能な端末エミュレーションプログラムが起動していて、かつシリアルポートに上記設定を施した PC と、本スイッチのシリアルポートを RJ-45 シリアルケーブルで接続します。
3. 接続が正常に行われると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます。

※初期状態では管理者のユーザ名及びパスワードは、初期状態では登録されていません。
何も入力せずに「enter」キーを 2 回押し、ログインします。

4. ログイン後、下記のコマンドを使用し、ファームウェアのアップデートを行います。

コマンド	説明
download [firmware_fromTFTP <ipaddr> <ipv6addr>] src_file <path_filename 64> {unit<unit_id> all} dest_file <pathname>	スイッチにファームウェアをダウンロードします。
config firmware image {unit<unit_id>} <pathname> boot_up	Boot up イメージファイルの変更をします。
Dir {{unit<unit_id>} <drive_id>} {<pathname>}	現在のブートイメージと設定ファイル名を表示します。
reboot	スイッチをリブートします。
show switch	スイッチの情報を表示します。

※ CLI コマンドの詳細は CLI マニュアルを参照下さい。
以下の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

例：

1.ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DGS-3120-24TC:admin#download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 src_file DGS3120AX_3_00_B037.had dest_file DGS3120AX_3_00_B037.had
```

```
Command: download firmware_fromTFTP 10.90.90.91 src_file DGS3120AX_3_00_B037.had dest_file DGS3120AX_3_00_B037.had
```

```
Connecting to server..... Done.
```

```
Download firmware..... Done. Do not power off !!
```

```
Please wait, programming flash..... Done.
```

2.ダウンロードしたファームウェアをブートアップ時に使用するファイルとして設定します。

```
DGS-3120-24TC:admin#config firmware image DGS3120AX_3_00_B037.had boot_up
```

```
Command: config firmware image DGS3120AX_3_00_B037.had boot_up
```

```
Success.
```

3.ダウンロードしたファームウェアが、ブートアップ時に起動するファイルとして正常に設定されているか確認します。

DGS-3120-24TC:admin#dir

Command: dir

Directory of /c:

Idx	Info	Attr	Size	Update Time	Name
1	RUN(*)	-rw-	6988660	2003/02/28 20:54:28	DGS3120AX_3_00_B037.had
2	RUN(b)	-rw-	6981596	2003/02/28 20:37:02	R3_00_B027.had
3	CFG(*)	-rw-	36469	2003/02/28 20:39:38	tftp.cfg
4		d---	0	2003/02/28 20:41:21	system

29869 KB total (15632 KB free)

(*) -with boot up info

(b) -with backup info

4.ファイルが正常に設定されているのを確認し、スイッチをリブートします。

DGS-3120-24TC: reboot

Are you sure you want to proceed with the system reboot?(y/n) y

Please wait, the switch is rebooting...

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。

再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

4. 再起動完了後に「Press any key to login...」と表示されるので、再度ログインします。

4.ファームウェアバージョンを確認します。

DGS-3120-24TC:admin#show switch

Command: show switch

Device Type	: DGS-3120-24TC Gigabit Ethernet Switch
Unit ID	: 1
MAC Address	: F0-7D-68-87-C0-32
IP Address	: 10.90.90.90 (Manual)
VLAN Name	: default
Subnet Mask	: 255.0.0.0
Default Gateway	: 0.0.0.0
Boot PROM Version	: Build 2.00.003
Firmware Version	: Build 3.00.B037
Hardware Version	: A1
Firmware Type	: EI
Serial Number	: P4VH1A9000006
System Name	:
System Location	:
System Uptime	: 0 days, 0 hours, 2 minutes, 19 seconds
System Contact	:
Spanning Tree	: Disabled
GVRP	: Disabled
IGMP Snooping	: Disabled
MLD Snooping	: Disabled
VLAN Trunk	: Disabled
Telnet	: Enabled (TCP 23)

CTRL+C ESC q Quit SPACE n Next Page ENTER Next Entry a All

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレスは 10.90.90.90 です。
3. PC 上で TFTP サーバを有効にします。
(必ず TFTP サーバをご使用の PC にインストールを行っておいてください。)
4. お客様の PC から RJ45 ネットワークケーブル経由でスイッチにアクセスできることを確認し、Web 管理画面からログインしてください。

※管理者のユーザ名とパスワードを入力は、初期状態では登録されていません。
「空白」でログインを行ってください。

5. スwitchのファームウェア更新を行うには、**Tools> Download Firmware** の順にクリックします。



6. ファームウェアダウンロードの設定を行います。

<TFTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 「Download Firmware From TFTP」にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

A screenshot of the 'Download Firmware' configuration window in the D-Link Web-UI. The window has a title bar with 'Download Firmware' and a 'Safeguard' icon. It contains two radio buttons: 'Download Firmware From TFTP' (selected) and 'Download Firmware From HTTP'. Below these are several input fields: 'Unit' (a dropdown menu showing '1'), 'TFTP Server IP' (a text box with '10.90.90.91'), 'Source File' (a text box with 'DGS3120AX_3_00_B037.had'), and 'Destination File' (a text box with 'C:/DGS3120AX_3_00_B037.had'). There are also radio buttons for 'IPv4' (selected) and 'IPv6', a 'Boot Up' checkbox, and a 'Download' button at the bottom right.

TFTP Server IP : IPv4 または IPv6 を選択し、TFTP サーバの IP アドレスを入力します。

Source File : ダウンロードするファームウェアのファイル名を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

※ 「Boot Up」にチェックをいれると、ダウンロードしたファームウェアがブートアップファイルに指定されます。

<HTTP 経由でダウンロードを行う場合>

- ① 「Download Firmware From HTTP」 にチェックをいれます。
- ② 以下の画面で必要項目を入力します。

Destination File : ダウンロード後の保存場所とファイル名を入力します。

Source File : 「参照」をクリックし、ダウンロードするファームウェアを選択します。

※ 「Boot Up」 にチェックをいれると、ダウンロードしたファームウェアがブートアップファイルに指定されます。

7. 「Download」 をクリックします。
8. ステータス表示に「Done」と表示されるまでお待ちください。

9. ダウンロードしたファームウェアを、次回起動時のブートアップファイルに指定します。
※手順 6 で「Boot Up」 にチェックをいれた場合は作業不要です。

- ① 「Network Application」 > 「Flash File System Settings」 の順でメニューをクリックします。
- ② 「Root」 欄の「C:」 をクリックします。
または「Current Path:」 に「C:/」 と入力→「Go」 をクリックします。

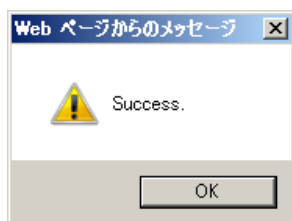
Root	Media Type	Size (MB)	Label	File System Type	Version
C:	Flash	29		FFS	Ver2.1

- ③ ブートアップファイルに指定するファイルの「Boot Up」 をクリックします。

Index	Name	Info	Attr	Size (byte)	Update Time	Boot Up	Rename	Delete
1	DGS3120AX_3_00_...	RUN(b)	-rw-	6988660	2003/02/28 20:18:23	Boot Up	Rename	Delete
2	DGS3120AX_Run_3...	RUN(*)	-rw-	6981596	2002/08/21 13:41:16	Boot Up	Rename	Delete
3	DGS3120_FW_R200...	RUN	-rw-	6103396	2002/09/21 22:54:45	Boot Up	Rename	Delete
4	http.cfg	CFG(*)	-rw-	36469	2003/01/08 15:10:33	Active	Boot Up	Rename
5	system		d---		2003/02/28 20:10:25		Rename	Delete

※Info 欄の * は、現在ブートアップファイルに指定されていることを表します。

- ④ ブートファイルの指定に成功すると以下の画面が表示されるので、「OK」をクリックします。

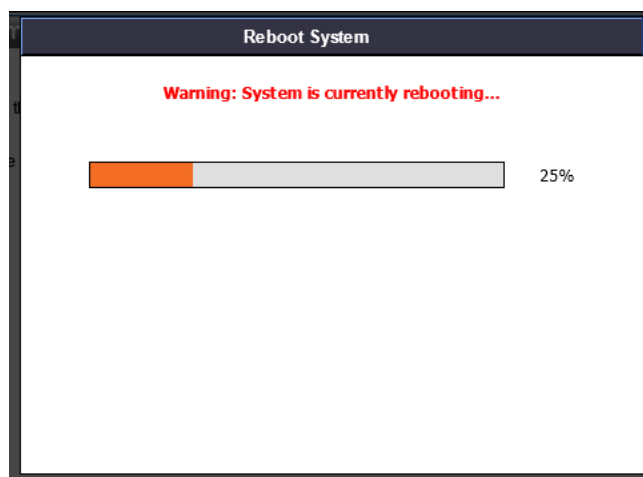


10. スイッチのリブートを行います。

- ① 「Tools」 > 「Reboot System」の順でメニューをクリックします。
- ② 「Do you want to save the settings ?」の「Yes」にチェックをいれ、「Reboot」をクリックします。

注意：スイッチの再起動中に、電源を切らないでください。再起動中に電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

11. リブート中は以下の画面が表示されます。



- 12. 再起動完了後にログインし、「Device Information」画面でファームウェアがアップデートされたことを確認します。**

追加機能：

特になし

MIB および D-View モジュールの変更点：

特になし

コマンドラインインタフェースの変更点：

特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R3.00.B037	<ol style="list-style-type: none"> 1. スタッキング時にマスターを変更すると、"login" "logout"以外のコマンドを使用できなくなる問題を修正致しました。 2. "show auth_statistics"を実行すると、DGS-3120 に接続できなくなる問題を修正致しました。 3. 802.1X 認証で、スイッチから認証応答がなくなる場合がある問題を修正致しました。 4. LAG のアルゴリズムを変更した場合に、リブート後変更が有効にならない問題を修正致しました。 5. スタック時に、スタックメンバー間でループバック検知が動作しない問題を修正致しました。 6. SSH のレスポンスが遅い問題を修正致しました。 7. CPU 使用率が 100%になり、CPU を介する通信に影響がでることがある問題を修正致しました。 8. Web GUI の"Security">"MAC-base Access Control (MAC)"メニューにおいて、以下のとおり画面を変更致しました。 <ol style="list-style-type: none"> ① "MAC-base Access Control Settings"画面から"Port Settings"を削除 ② "MAC-based Access Control Port Settings"画面を追加 9. Internet Explorer および Google Chrome で、「Network Application」>「Flash File System Settings」>「C:/」の画面が正しく表示されない場合がある問題を修正致しました。 10. 内部監視の処理を改善致しました。 11. スタッキング時に、スレーブユニットのポートに対して、WEB GUI による帯域幅制御の設定が正しく行えない問題を修正致しました。 12. WEB GUI のレスポンスがなくなる・または非常に遅くなる問題を修正致しました。 13. DHCP リレーが正しく動作しない問題を修正致しました。 14. sFlow の機能のご利用の場合、"flow_sampler"において、"tx_rate"により生成される "index" の値に入力 Port を設定していた問題を修正致しました。 15. sFlow の機能のご利用の場合、"flow_sampler"において、Port 確認の不備により、スイッチングされたパケットについて "Output interface:"に "0x3fffffff"(CPU)を設定する場合があった問題を修正致しました。 16. スタッキング時に MSTP のインスタンスに VLAN を追加した際、通信が途切れることがある問題を修正致しました。 17. WEB GUI の HTTP 経由で、コンフィグレーションのアップロード/ダウンロードが正しく行えない問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R3.00.B037	<ol style="list-style-type: none"> Radius 認証、Syslog、筐体からの ping6 コマンドにおいて、Stateless な IPv6 アドレスを使用する問題。 Combo Port において、SFP の RX が信号を受信している状態では、SFP Port、Copper Port とも Link Up しない問題。 ケーブル診断機能において、Link 速度が 100Mbps(対向が FE のみサポートの PHY)の場合に診断結果が誤って表示される問題。 ケーブル診断機能において、Link 速度が 1Gbps の場合でも Link Down する問題。 R1.02 系もしくはそれ以前のファームウェアから R3.00.xx に直接ファームアップをすることはできない問題。 R1.02 系もしくはそれ以前のファームウェアから R3.00.xx にファームアップするには、R2.00 系のファームウェアにアップグレードしてから R3.00.xx にアップグレードしてください。

Copyright 2006-2014 D-link Japan K.K.